

新規就農支援プラン

様式3

【注意事項】応募者のみなさまへ

- ・この資料では地域受入連絡会（農業法人等）が育成する新規就農者の姿について紹介します。ただし、経営開始時の状況によって経営面積はそれぞれ異なり、資材の価格や農産物の相場も変動します。記載の数字は就農後の経営規模や所得、労働時間を保証するものではなく、あくまで目安とお考えください。
- ・時間をかけて情報収集を行い、実現したい農業経営やライフスタイルを明確にし、研修先を選びましょう。

1 受入地域の基本情報

連絡会（農業法人等）名	JA静岡市地域受入連絡会 (代表電話：054-288-8440)	連絡会 (農業法人等)の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が好きな方、自然薯のように粘り強く農業を生業として生きていく方を歓迎します。『ほんやま自然薯部会』一丸となり一人前の農業者として育成します。 ・研修生育成（自然薯）での就農実績2名 ・静岡市就農条件…5年後の所得300万円の計画など
作目	自然薯、茶、トウモロコシ		
関係市町	静岡市		
指導農家数	1 人・社		
地域が望む 応募者の人物像	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡市に定住し、地域住民とのお付き合いができ、男女問わず、辛抱強く我慢強く、農業を生業としていく方 ・『ほんやま自然薯部会』に加入し、生産物の販路はJA共販主体でされる方 ・農業に投資できる金額が500万円以上ある方 		

2 経営開始時の労働力（モデル）

家族労働力	1 人	備考	家族の協力や夫婦で就農いただけると労力は大幅に軽減されます。 本圃に種イモ定植する前後および収穫・出荷作業に労力が割かれます。	
雇用労働力	常雇			人
	臨時雇用			2 人

労働力確保に関する支援： あり ・ なし

【支援内容】

JA無料職業紹介所によるパート労働者紹介ができる

3 経営開始時の農地（モデル）

面積（本ば）	15 a	備考	別途必要な施設・設備：種イモ育苗ハウス2 a、井戸等の灌水設備、農作業出荷調整場兼倉庫1 a、電気設備など
借地料	10 千円/10a・年		

※経営開始時の経営面積を保証するものではありません。

就農農地（候補）について： 研修前に見通しが立っている ・ 研修期間中に探す ・ その他

【支援内容】 地域受入連絡会、静岡市農業委員会、静岡県農業振興公社が連携して、研修生に合う農地を探します。

4 経営開始時に必要な主要施設・機械（モデル）

区分	装備	数量	金額（万円）	備考
機械	出荷機材（冷蔵庫・真空包装機）	一式	250	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資については青年等就農資金を借入し営農を開始する機会が多いが、なるべく自己資金が多い方が農産物収入を得るまでに余裕ができる。 ・育苗ハウスや自然薯棚用直管パイプが中古で手当てできれば初期投資が抑えられる。 ・自然薯栽培において灌水設備が必要となるので別途費用がかかる。 ・倉庫兼出荷調整場所については就農場所によって借りる事や新築で建設する場合がある。 ・原油や為替等
施設	種イモ育苗ハウス（網室ハウス）	1棟	150	
機械	ミニバックホー（ユンボ）	1台	350	
機械	自然薯管理機一式	一式	250	
施設	自然薯栽培棚（直管パイプ他）	30a分	130	
機械	中型トラック	1台	150	
機械	トラクター（中古）	1台	100	
総計			1,380	

施設・機械の導入、肥料・農薬・資材等の購入に活用できる独自の支援： あり ・ なし

【支援内容】

JA静岡市新規就農者養成講座「新生」を受講・卒業し就農計画を策定された方に設備投資事業額の1/2（上限30万円）※別途条件あり

